

第15回行徳臨海部まちづくり懇談会



第15回目の行徳臨海部まちづくり懇談会が、平成16年12月22日(水)に市川市役所第5委員会室にて開催されました。

会議では、行徳臨海部の課題に係る最近の状況について事務局からの報告、行徳まちづくりの会と市川緑の市民フォーラムから「人と水と緑のネットワークづくり」について提案の発表があった後、意見交換が行なわれました。

<写真>

第15回行徳臨海部まちづくり懇談会の様子

- 【開催日時】 平成16年12月22日(水曜日) 18時30分～20時20分
- 【開催会場】 市川市役所第5委員会室
- 【出席委員】
- | | |
|--------------------|------------------------|
| 西村幸夫(東京大学教授)※座長 | 風呂田利夫(東邦大学教授) |
| 歌代素克(南行徳地区自治会連合会) | 佐野郷美(市川緑の市民フォーラム) |
| 安達宏之(三番瀬環境市民センター) | 丹藤翠(行徳まちづくりの会) |
| 東良一(行徳野鳥観察舎友の会) | 藤原孝夫(市川市行徳漁業協同組合) |
| 及川七之助(南行徳漁業協同組合) | 富田伸彦(市川市塩浜協議会まちづくり委員会) |
| 柳田高峰(都市再生機構千葉地域支社) | 永田健(市川市助役) |

<敬称略>

- 【会議次第】
1. 開会
 2. 行徳臨海部の課題に係る最近の状況について
 - ア) 主な経緯について
 - イ) 「(仮称)三番瀬再生会議」について
 - ウ) 全国都市再生モデル調査について
 3. 人と水と緑のネットワークづくりについて
 4. 市川塩浜駅周辺のまちづくり計画について
 5. その他
 6. 閉会

- 【会議資料】 [行徳臨海部の課題に係る最近の主な経緯](#)〔資料1〕
[三番瀬の再生事業に係る基礎的な調査の説明会資料](#) [三番瀬再生会議委員名簿](#)〔資料2〕<千葉県ホームページへ>
[全国都市再生モデル調査について](#)〔資料3〕
[三番瀬懇話会への提案](#)〔資料4〕<丹藤委員作成資料>
[塩浜地区まちづくりの考え方\(案\)](#)〔資料5〕 [まちづくりの基本構成図\(案\)](#) [まちづくりの方針図\(案\)](#)
[行徳臨海部の課題に係る今後の予定](#)〔資料6〕

【議事内容】 [ここをクリックしてください](#)

※各委員から提出された説明用資料については、掲載しておりません。懇談会の資料は、市川市役所市政情報センターなどで閲覧できます。

(平成16年12月28日作成 最終更新日:平成17年4月5日)

[まちづくり懇談会トップページへ](#) ← [第14回懇談会](#) [第16回懇談会](#) →



市川市 建設局 街づくり部 行徳臨海対策課
Copyright (c) 2004-2005
Ichikawa City. all rights reserved.

行徳臨海部の課題に係る最近の主な経緯	
年月日	内 容
平成16年	
9月1日	第14回「市川市行徳臨海部まちづくり懇談会」開催
9月3日	第15回行徳臨海部対策本部開催
9月21日・22日	第1回江戸川第一終末処理場計画地の用地買収に係わる千葉県と市川市合同の全体地権者説明会開催
9月24日	千葉県が第2回「(仮称)三番瀬再生会議」準備会開催
9月30日	第4回塩浜まちづくり研究会開催
10月1日	千葉県が処理場の環境影響評価方法書の閲覧を開始
10月3日	第5回三番瀬まつり実施
10月24日	第6回三番瀬クリーンアップ大作戦実施
10月26日	千葉県が三番瀬の再生に係わる基礎的な調査の説明会を開催
11月29日	第16回行徳臨海部対策本部開催
12月20・21日	第2回江戸川第一終末処理場計画地の用地買収に係わる千葉県と市川市合同の全体地権者説明会開催
12月22日	第15回「市川市行徳臨海部まちづくり懇談会」開催

全国都市再生モデル調査について

<都市再生本部の役割>

最初に、都市再生本部は、環境、防災、国際化等の観点から都市の再生を目指す21世紀型都市再生プロジェクトの推進や土地の有効利用等都市の再生に関する施策を総合的かつ強力に推進することを目的とし、平成13年5月8日、閣議決定により内閣に設置されたものです。

その後、平成14年6月1日、都市再生特別措置法が施行され、都市の再生に関する施策を迅速かつ重点的に推進するための機関として、法律に位置づけられました。

<国の都市再生活動の支援>

全国都市再生モデル調査は、内閣官房 都市再生本部(本部長:内閣総理大臣)において決定されております「全国都市再生のための緊急措置～稚内から石垣まで～」(平成14年4月8日)の一環として、全国各地の先導的な都市再生活動を、国が「全国都市再生モデル調査」として支援するものです。

<モデル調査の募集経緯>

「全国都市再生モデル調査」は、平成16年4月13日付けで、「課題解決の道筋は十分ではないがまちづくり意欲は高いもの」、地域が「自ら考え自ら行動する」という趣旨のもと、都市再生を推進する上で特に創意工夫が必要なまちづくりに関わる構想の具体化の取組や、シミュレーション、実地検証等の調査活動について、関係省庁等の所管の枠組にとらわれず、また、具体の事業化前の段階を含め、平成16年度中に実施が可能な都市再生活動の提案が募集されました。

<市の提案及び範囲>

平成16年5月12日に「環境再生と産業再生が一体となった三番瀬に向き合うまちづくり検討調査」として、市川市塩浜地区(80ha)を対象に周辺の環境資源を生かし、地域活性化による街づくりを進めるための条件整理、方針策定及び地権者、NPO等のまちづくりへの参画・連携方策について検討をすとして、提案をさせていただきました。

<モデル調査の内容>

5項目の調査を実施し、塩浜地区まちづくり基本計画案を策定する。

- ・協働による、より良いまちづくりの実現に向けて、地区の将来像、及び土地利用、基盤整備、建築物や景観形成等の方針を示すものとして、まちづくり整備条件を整理するために、街づくりの整備条件の整理の検討
- ・街づくりの整備条件を踏まえて、千葉県が整備する護岸と一体的なまちの整備方法の検討
- ・行徳近郊緑地及び三番瀬をつなぐ環境軸の形成イメージ、及び環境資源の活用方策について検討
- ・環境学習施設の在り方と活用方針及びNPO参画の仕組みの整理を行い、三番瀬の環境資源を生かした活動内容、及びNPO等による市民参加型の整備方法の検討。
- ・持続可能なまちづくりに向けて、行政、企業、住民、NPO等多様な主体が参画する環境保全再生策についての検討。

<モデル調査の選定>

以上の内容で提案をさせていただいたところ、平成16年6月30日に都市再生本部より全国から566件の応募の中から調査の対象として(162件)選定されたものです。

なお、都市再生プロジェクト推進調査費(国費)が国土交通省河川局に配分され「全国都市再生モデル調査」の提案者である市川市に委託されるものです。

<モデル調査の効果>

調査を行なうことで、自然環境再生と土地利用転換による産業活性化による産業再生によって、持続的な都市の再生が図られ、塩浜地区が市川の新しい地域活動拠点として、発展していくことを期待する。

<今後のスケジュール>

このモデル調査は、都市再生プロジェクト推進調査費(国費)を活用した調査として、今年度内にその成果をとりまとめます。

このとりまとめにあたっては、平成14年12月に策定しました市川市行徳臨海部基本構想をもとに、地権者組織である「市川市塩浜協議会まちづくり委員会」の「塩浜まちづくり方針」の意見も参考にさせていただき、行徳臨海部まちづくり懇談会のご意見もいただき「塩浜地区まちづくり基本計画案」として策定したいと考えております。

行徳臨海部の課題に係る今後の予定	
年月日	内 容
平成16年	
12月24日	第1回三番瀬漁場再生検討委員会開催(千葉県)
12月27日	第1回三番瀬再生会議開催(千葉県)
平成17年	
1月11日 ~ 25日	江戸川左岸流域下水道の変更に関する素案の縦覧(千葉県)
1月20日	第5回塩浜まちづくり研究会開催(市川市)
1月24日	行徳臨海部特別委員会(市川市)
2月17日	第6回塩浜まちづくり研究会開催(市川市)
3月6日	江戸川左岸流域下水道の変更に関する公聴会の開催(千葉県)
3月17日	第7回塩浜まちづくり研究会開催(市川市)